

# 1 ため池とは

ため池とは、農業用水を確保するために造られた人工の池のことです。ため池は四国や中国地方などの瀬戸内地域を中心に、全国に約 20 万箇所あるといわれており、そのうちの約 7 割は江戸時代以前に造られたとされています。

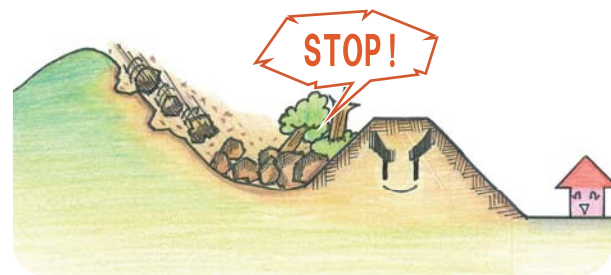


# 2 ため池の役割

ため池の主な役割は農業用水の確保ですが、実はそれ以外にも様々な役割を担っています。

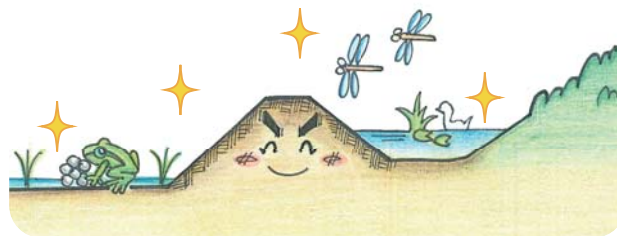
## 防災

大雨のとき、ため池はダムのような役割を果たし、上流から流れてきた水や土砂、流木などを貯留し、災害の危険性を軽減します。(平成 26 年 8 月の豪雨では、ため池が流水や土砂、流木を一時的に溜めこみ、下流への被害を軽減しました。)



## 生態系

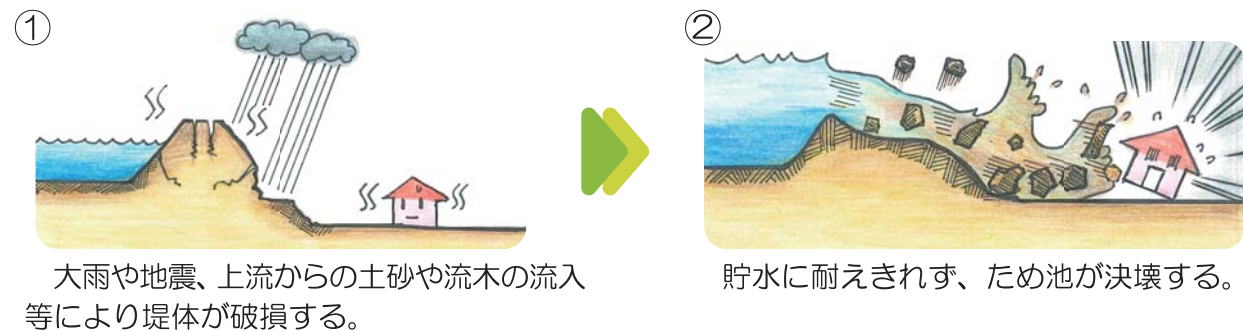
ため池は、周囲の水田や雑木林等と共に、野鳥や水生生物など多様な生き物を育む場となっています。このように、多様な生き物が生息する環境は健全な農業の土台となります。



# 3 ため池の決壊

## 決壊のしくみ

ため池が決壊する主な原因は大雨や地震で、このとき引き起こされる濁流は「山津波」とも呼ばれています。平成 30 年 7 月豪雨では、広島県でため池が決壊し、死者が出るなどの被害が出ています。



## 決壊の前兆

以下のような前兆が現れた場合は、ため池決壊の危険性が高まっている可能性も考えられます。(ため池の決壊は豪雨などの災害が去った後に起こることもあるので注意が必要です。)

- 流れてくる水の量が短時間で変わった。
- 流れてくる水の色が濁りはじめた。
- ため池の水位が急に減り始めた。
- ため池の堤体がぬかるんでいる。

# 4 ため池を守る

ため池本来の役割を發揮するためにも、日ごろからの定期的な管理はとても重要です。

## ① 上流の森林管理

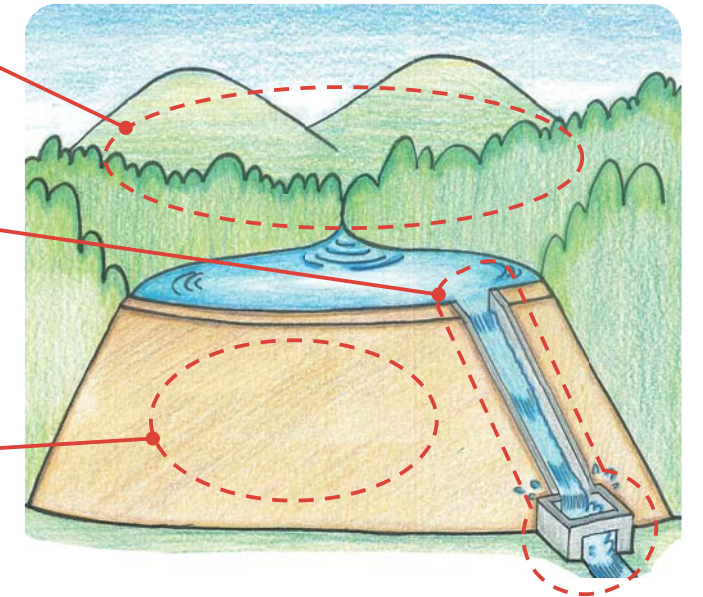
ため池上流部を見回り、倒木や流木、土砂崩れ等の異常がみられないか点検しましょう。

## ② 余水吐の管理

余水吐は、ため池の貯水能力を超える水を排水し、決壊から守るための重要な施設です。ごみ詰まりや破損などの異常がないか点検しましょう。

## ③ 堤体の管理

定期的に除草するなどして、草木の根によって堤体に水の通り道ができないようにしましょう。



# 5 ため池ハザードマップの使い方

ため池の決壊から身を守るため、ため池ハザードマップを活用しましょう。裏面のマップから以下の情報等入手し、現場の状況に応じた避難をしましょう。

## ① ため池の位置を知る

まず、ため池がどこにあるのか、位置を確認しましょう。

## ② どんなときに決壊の危険があるのかを知る

ため池が決壊する主な原因は地震と豪雨です。このような状況下で避難をする際には、周辺の山や川で土砂災害や洪水が起こっている可能性がありますので、安全のため、山や川に近づかないことが重要です。(※裏面のマップに示した土砂災害や洪水の被害が想定される区域を避け、安全な避難路を確認しましょう。)

## ③ 決壊の危険があるときの対応方法を知る

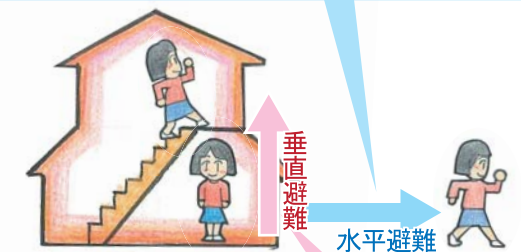
### ・避難する余裕があるとき(水平避難※)

時間と安全な避難経路が確保されている場合は、速やかに徒歩で避難してください。

### ・避難する余裕がないとき(垂直避難※)

もし逃げ遅れたり、浸水により徒歩での避難が危険な場合は、自宅や近くの頑丈な建物への垂直避難をすることも選択肢の一つです。垂直避難をする場合は、頑丈な建物の 2 階以上のなるべく高いところで、かつ、ため池から離れた場所に避難してください。

※水平避難…安全に避難できるうちに、一時避難場所等に避難する避難方法。



※垂直避難…急激な降雨や浸水により屋外での歩行等が危険な状態になったとき、自宅や隣接建物の 2 階等へ緊急的に一時避難する避難方法。

## ④ 避難路や避難場所を実際に歩いてみる

自宅から避難所までの避難路が決まったら、実際に歩き、避難にかかるおおよその時間を確認しましょう。